

九頭竜川流域委員会ニュース No.28

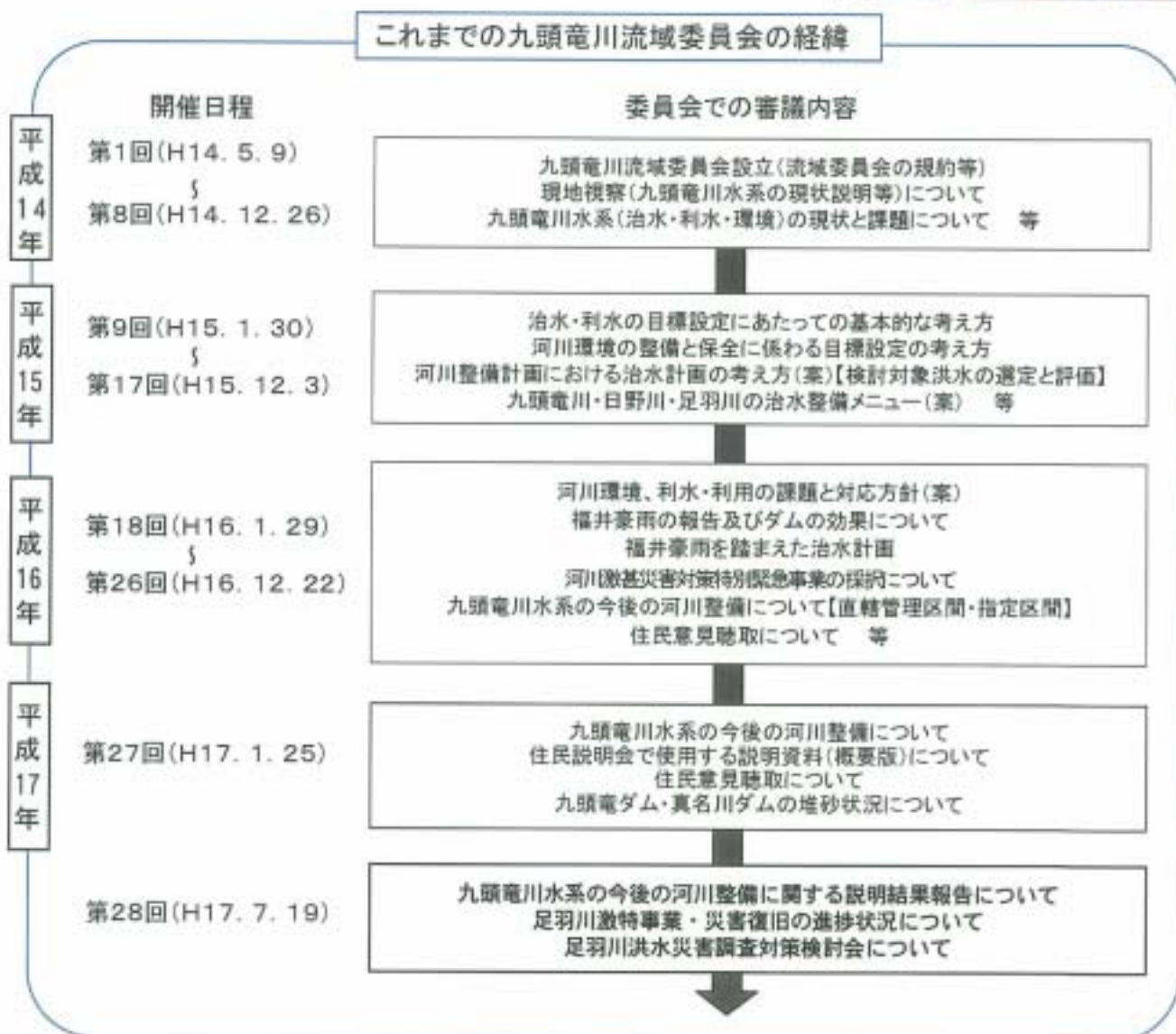
このニュースレターは、「九頭竜川流域委員会」の開催状況や審議内容について地域住民の皆さんにお知らせするために、流域委員会が発行するものです。

編集・発行 九頭竜川流域委員会

◎第28回「九頭竜川流域委員会」が平成17年7月19日に福井県自治会館において開催されました。

◎今号の主なニュース内容

- ◇第28回九頭竜川流域委員会の審議骨子
- ◇九頭竜川流域委員会からのお知らせ



第28回流域委員会の審議骨子

◎当日は19名の委員が参加し、河川管理者から「九頭竜川水系の今後の河川整備に関する説明結果報告」、「足羽川激特事業・災害復旧の進捗状況」及び「足羽川洪水災害調査対策検討会の報告」等についての説明がなされ、意見交換が行われました。

1. 九頭竜川水系の今後の河川整備に関する説明結果報告について

「九頭竜川水系の今後の河川整備に関する説明結果報告」に関して説明した主な内容は、以下に示すとおりです。

- (1)説明資料の情報発信の方法について
- (2)主な質問等の紹介

以上の説明を実施した後に、次のような質問や意見が出されました。

1. 説明会に参加した感想として、「説明内容が専門的で少しわかりにくかった」、「環境に対する説明が治水と比べ少なかった」、「説明会の参加者を募る周知が弱かった」という印象を受けた。
→住民意見聴取に向けて、周知の方法の他にも、開催曜日やどのようにして川に関心をもってもらうかが今後の改善点である。
2. 説明資料の概要版に流域委員会で出された意見が掲載されているが、流域毎に掲載内容が異なっていた。委員会として今まで審議してきた内容が、流域毎に違って伝わったのではないかと。
→九頭竜川流域の説明会の際には流域委員会で出された意見を整理して配布したが、日野川・足羽川流域では間に合わなかった。今回の反省点を住民意見聴取の段階でいかしていきたい。
3. 説明会の参加者が少ないのはPRが不十分なのではなく、川づくりに対する住民の関心度の度合いもあるのではないかと。参加人数で是非を問うのはどうかとも思う。
4. 足羽川ダムと導水路の計画となっているが、導水路の特徴についても説明して理解を求めた方がいい。ただ、水没者にとって治水専用ダムではあまりにも寂しいので、水を貯めるダムにして欲しい。
5. 今後、原案を作成していく段階で、流域委員会の方針と異なる住民からの質問等の取り扱い、原案への反映の仕方について考えていく必要がある。
6. 流域委員会では今後30年間の計画を審議しているが、足羽川の治水を考えた場合、ダムだけで事足りるということではない。先々の問題も見据えて考えていくべき。

第28回流域委員会の審議骨子

7. ダムについては、「位置と規模」、「水を貯める機能をもたせるか、もたせないか」について、流域委員会として判断していく必要がある。
8. 警戒水位等の防災上の観点から、洪水流下を示す指標は、流量だけでなく水位も示すことによってイメージがしやすくなり、一般の人にもわかりやすい。
9. 説明会に参加して感じたことは、福井豪雨を経験したことによって、足羽川ダムに対する住民意識に変化があった点である。
10. 地域の問題に対して、住民の方、特に若い人たちにもっと関心をもってもらうことが必要である。また、説明会等を開催する場合、NPO等の団体を通じて地域に浸透させていくのも一つの方法である。
11. 治水専用ダムについて、維持流量の確保や濁水の問題など、環境面や利水面からの検討も必要である。
12. 説明会では、地域によって川への関心度の温度差が見られた。川づくりに対し、いかに関心をもってもらうかを考えていくことも重要である。
13. 足羽川ダムの審議を進めるためには、「効果」、「技術的な妥当性・確実性」、「コスト」、「環境に対する影響」、「地域社会に対する影響」について、現状で想定し得る案との比較検討が必要である。
14. ダムの段階的な整備は、当初のコストを最小限にするための有効な手段である。一方、ダムを実際に受け入れる地元住民の意識を考慮すると、ダムの最終形を明示して、その合意を得ていかないと段階的に進めていくのは難しい。

●説明会の開催状況

【足羽川流域】

| 開催日時 | 場 所 | 参加者 |
|-------------------------|----------------------|------|
| 4月14日(木) 19:00~20:30 | 福井市商工会議所 (福井市西木田) | 約90人 |
| 4月15日(金) 19:00~20:30 | 福井土木事務所 (福井市城東) | 約60人 |
| 4月18日(月) 19:00~20:30 | 北陸公衆衛生研究所 (福井市光陽) | 約60人 |
| 4月19日(火) 19:00~20:30 | 東郷公民館 (福井市東郷) | 約60人 |
| 4月20日(水) 19:00~20:30 | みやま町民交流館 (美山町) | 約90人 |
| 4月21日(木) 19:00~20:30 | 能楽の郷文化交流館 (池田町) | 約90人 |

【日野川流域】

| 開催日時 | 場 所 | 参加者 |
|-------------------------|--------------------|------|
| 5月31日(火) 19:00~20:30 | 鯖江市文化の館 (鯖江市) | 約40人 |
| 6月1日(水) 19:00~20:30 | JA福井市本店 (福井市洲) | 約10人 |
| 6月2日(木) 19:00~20:30 | 武生市文化センター (武生市) | 約50人 |

【九頭竜川流域】

| 開催日時 | 場 所 | 参加者 |
|------------------------|----------------------|------|
| 6月7日(火) 19:00~20:30 | 坂井町多目的研修 施設 (坂井町) | 約80人 |
| 6月8日(水) 19:00~20:30 | 福井県自治会館 (福井市開発) | 約40人 |
| 6月9日(木) 19:00~20:30 | 大野有終会館 (大野市) | 約80人 |



能楽の郷 文化交流館 (池田町)

第28回流域委員会の審議骨子

2. 「足羽川激特事業・災害復旧の進捗状況」及び

「足羽川洪水災害調査対策検討会の報告」等について

「足羽川激特事業・災害復旧の進捗状況」及び「足羽川洪水災害調査対策検討会の報告」等に関して説明した主な内容は、以下に示すとおりです。

- (1) 足羽川激特事業の進捗状況
- (2) 災害復旧の進捗状況
- (3) 足羽川洪水災害調査対策検討会の概要
- (4) 足羽川における河道改修効果及び水位計算について

以上の説明を実施した後に、次のような質問や意見が出されました。

- 15. 水位計算の基本的な考え方について、もう少しわかりやすく説明して欲しい。
→わかりやすく説明できるように工夫する。
- 16. 水位計算における基本的な考え方については、文章以外にもどんな計算方法でどう違うのかを図などを使って表現した方が、わかりやすく説明できる。
- 17. 激特事業では、河床掘削をして河積を確保していくが、今後、その河床にまた上流から土砂が入ってきた場合、また河床掘削が必要となる。激特事業によって未来永劫何もしなくていいと考えるべきではない。
- 18. 特殊堤の暫定補強は、今後どのように取り扱っていくのか？
→特殊堤の補強はあくまで暫定的なもので、その構造については今後検討していく。
- 19. 堤防の点検作業は、実施しているのか？
→天神橋までの全区間と、他の重要な県管理河川については、堤防点検を実施している。今後、その点検結果に基づき詳細な調査を実施する予定である。
- 20. 桜堤は、今後どのように取り扱っていくのか？
→桜堤については、構造上の問題、景観等も含めて今後検討していく。

【水位計算における基本的な考え方】

| | 第25回九頭竜川流域委員会(河川整備計画対応) | 足羽川における河道改修計画について説明資料(激甚災害特別緊急事業対応) |
|----------------|---|--|
| 今回の水位計算の基本的考え方 | 九頭竜川・日野川・足羽川で河川整備計画の河道改修実施後に福井豪雨規模の出水が発生した場合の足羽川の水位について計算 | 日野川・足羽川で当面改修実施後(激特+緊特完成)に福井豪雨と同じ出水が発生した場合の足羽川の水位について計算 |
| 事業の考え方 | 河川整備計画目標に対して不確実な各種条件を考慮しても被害が生じないようにすることを旨とする。 | 再度災害防止の観点から福井豪雨と全く同じ洪水が再度発生しても被害が生じないようにすることを旨とする。 |

第28回流域委員会の審議骨子

3. その他（今後の流域委員会の進め方・スケジュール等について）

21. 河川整備計画原案はいつ頃を目途に完成させるか等、スケジュール的な面も考えていく必要がある。
22. 今までの流域委員会は、多岐の問題を抽象的に審議してきた傾向がある。今後は、一つ一つの議題に対し具体的に詰めていく必要がある。足羽川のダムについては、規模や費用を見据えた上で流域委員会としての考えを示すべき。
23. 説明会を開くことによって、流域委員会の開催期間があいてしまい議論の焦点がぼやけてきた感じがする。今後進めていく上で、余り間隔をあげない等のスケジュール的な配慮が必要である。
24. 今まで流域委員会では相当議論を重ねてきており、そろそろ議論の絞り込みも必要。流域委員会には、ある程度の絞り込みの段階で投げかけてもらい、それについて審議していったらどうか。
25. 議論の絞り込みを行う場合は、どういう理由で絞り込んだかを明記することが必要である。
26. 流域委員会の長期的な目途を立てて、行政にはもう少しスピーディーに時間短縮をお願いしたい。
27. 今後、流域委員会で審議していく内容は？
→今後、河川整備計画原案を作成していく上で、「九頭竜川水系の今後の河川整備に関する説明資料」を順次改訂していく。検討事項としては、「足羽川ダムに関する事項」、「平常時における河川流量の検討」、「河道掘削に伴う河床の安定性の検討」、「九頭竜ダムの容量再配分の検討」等を進めていく。



第28回流域委員会の審議状況